

## 令和2年度 第2回日置市文化財保護審議会



大乘寺跡（市指定史跡）

日置島津家6代 島津久竹墓塔（石祠）内 仏像（地藏座像カ）

日時 令和3年2月12日（金）14：00～

場所 日置市中央公民館 3階 大会議室

### 《会次第》

- 1 開会
- 2 教育委員会あいさつ
- 3 協議
  - (1) 令和2年度事業報告について
  - (2) 令和3年度事業計画について
  - (3) その他
- 5 閉会

日置市文化財保護審議会委員

任期 令和元年8月1日～令和3年7月31日

役職	氏名	住所
会長	帖佐秀人	日置市伊集院町
副会長	楠生恭二	日置市東市来町
	竹之内麗子	日置市伊集院町
	石川みどり	日置市東市来町
	西郷隆文	日置市日吉町
	鳩野哲盛（欠席）	日置市日吉町
	池上成昭	日置市吹上町
	上田耕（欠席）	南九州市知覧町

（地域別五十音順）

事務局名簿

《事務局》	役職	氏名
日置市教育委員会 社会教育課文化係 Tel. 099-248-9432 FAX. 099-273-3145	社会教育課長	横枕広幸
	東市来支所教育振興課長	恒吉和正
	日吉支所教育振興課長	坂上 誠
	吹上支所教育振興課長	松岡政仁
	社会教育課文化係長	東 進一
	東市来支所教育振興課 社会教育係長	笹川貴士（欠席）
	日吉支所教育振興課 社会教育係長	並松正倫（欠席）
	吹上支所教育振興課 社会教育係長	中野孝子（欠席）
	吹上支所教育振興課 社会教育係専門事務員	下小牧潤
	社会教育課文化係 埋蔵文化財専門事務員	西久保淳美
	社会教育課文化係主査	瀧川哲哉

## 1 令和2年度事業報告

### (1) 発掘事業

主な公共・民間事業に伴う確認調査（令和3年2月12日現在）

- ア 七反畠遺跡確認調査（個人住宅）
- イ 市ノ原遺跡確認調査（個人住宅）
- ウ 赤井田遺跡確認調査（太陽光発電パネル設置）
- エ 小堀遺跡確認調査（県農道整備）
- オ 一字治城跡確認調査（市多目的トイレ建設）

### (2) 保護事業

#### ア 文化財保護審議会及び研修会の開催

- (ア) 第1回指導主事等会議（文化財・文化行政担当者）

4月10日（金） 於 かがしま県民交流センター（中止）

- (イ) 文化財保護行政担当職員研修会

5月10日（金） 於 かがしま県民交流センター（中止）

- (ウ) 第1回日置市文化財保護審議会

5月21日（木） 於 日置市中央公民館

- (エ) 鹿児島地域文化財保護審議会委員及び文化行政担当者等研修会

6月17日（水） 於 鹿児島市（中止）

- (オ) 文化財研修講座（鹿児島県教育委員会主催）

8月19日（水） 於 市町村自治会館ホール（鹿児島市）

- (カ) 令和2年度埋蔵文化財専門職員養成講座

初級：8月6・7日（木・金）・中級：同20・21日（木・金）

・上級：1月19・20日（火・水）

於 鹿児島県立埋蔵文化財センター・上野原縄文の森（霧島市）

- (キ) 日置地区文化財担当者等研修会

11月18日（水）

於 鹿児島教育事務所・福昌寺跡・旧島津氏玉里邸（鹿児島市）

- (ク) 第2回日置市文化財保護審議会

2月12日（金） 於 日置市中央公民館

イ 市内の県・市指定無形民俗文化財等の公開・発表

(ア) 県指定

吹上伊作太鼓踊（湯之浦保存会） 無形民俗文化財

8月28・29日（金・土）（中止）

於 吹上町湯之浦 南方神社他吹上町内各地 （県補助有）

吹上妙音十二楽 無形文化財

10月12日（月）

於 吹上町田尻 中島常楽院（一般公開無）（中止）

伊集院大田太鼓踊り 無形民俗文化財

10月24日（土）（第70回妙円寺詣り奉納行事）（中止）

於 伊集院町徳重 徳重神社・同町大田 神明神社

伊集院町徳重大バラ太鼓踊り 無形民俗文化財

10月24日（土）（第70回妙円寺詣り奉納行事）（中止）

於 伊集院町徳重 徳重神社（妙円寺詣り）・同 日枝神社

吹上 大汝牟遅神社流鏝馬（伊作流鏝馬） 無形民俗文化財

11月23日（月・祝）於 吹上町中原 大汝牟遅神社（中止）

(イ) 市指定無形民俗文化財

お田植え踊、せつぺとべ（日吉） 6月7日（日）（中止）

於 日吉町吉利 鬼丸神社・同町日置 八幡神社等

※吉利中区のみ8月22日（日）に鬼丸神社にて奉納

伊作田踊り（東市来） ※3年に一度の本祭年だが、来年に延期

於 伊作田兵部太夫道材の墓地前・鶴城寺

北山の火振り（東市来） 8月15日（土）

於 東市来町養母 北山納骨堂

諏訪・八幡太鼓踊り（日吉） 無形民俗文化財

8月30日（日）（中止）

於 日吉町日置 諏訪（南方）神社・八幡神社

吉利太鼓踊り（北区）（日吉） 無形民俗文化財

8月22日（土）（中止）

於 日吉町吉利 南方神社・吉利北区公民館他日吉町内各地

ウ 民俗芸能等伝承活動支援事業費交付金（令和3年2月12日現在）

対象団体67団体中17団体申請 実績額 4,029千円／14,000千円

※3期目3年目（最終年）

## エ 文化財の保護・管理

### (ア) 文化財パトロール（協議）

令和3年3月上旬実施予定

### (イ) 文化財保護協会運営事業

各地域保護会補助金（日吉166,750円・吹上821,000円）

### (ウ) 委託事業

シルバー人材センターや管理公社に清掃・草払い等を委託。

- ・東市来：美山 薩摩焼窯跡・南京皿山跡・五本松窯跡・堂平窯跡・長里 市来鶴丸城跡（160,639円）

- ・伊集院：麦生田 平等寺跡・大田 本田兄弟の墓碑（34,107円）

### (エ) 文化財保護啓発活動

文化財保護強調週間 11月1日（日）～同7日（土）

文化財防火デー 1月26日（火）

期間中、市お知らせ版等の広報を通じて市民への文化財の保護の啓発や、文化財所有者や管理者（団体）等への文化財の防犯・防災対策への注意喚起や開発等に伴う文化財保護法の遵守・徹底の文書発送を行う。

## オ 文化財の整備

### (ア) 修繕（補助事業）

- ・大乘寺跡（市指定史跡）日置島津家6代島津久竹墓塔（石祠）

修繕【別紙2】参照

- ・伊集院町寺脇 円福寺跡 「伊集院忠国公夫妻の墓碑を含む円福寺墓地群」（市指定史跡） 参道整備（碎石敷設） 9,801円



敷設前



敷設後

(イ) 標柱及び説明板等の設置・修繕【別紙3】参照

#### カ 文化財調査

(ア) 妙音十二楽調査（延期）

(イ) 鮫島佐太郎窯（民陶館）調査（延期）

### (3) 資料館運営

#### ア ひよし歴史資料室（日置市役所日吉支所2階）

日吉支所新築に伴い、県地域振興推進事業を活用し、「ひよしの歴史探訪拠点施設」として平成29年3月30日（木）設置開設。

日置島津家や吉利領主 小松（禰寝）家など、日吉地域の近世期から明治維新期の歴史や人物に関わる所蔵資料・複製資料を展示するとともに、歴史の情報発信を図るための環境整備を行った。

#### イ 吹上歴史民俗資料館（日置市吹上中央公民館横）

昭和57年11月開館。吹上地域における歴史、郷土芸能や民俗に関する資料を展示している。平成28年11月のリニューアルに伴い、伊作城を拠点とした伊作島津家から出た島津忠良と、同家から島津宗家を継いだ貴久とその子義久・義弘ら兄弟が、島津家を戦国大名・近世大名へと成長させていく過程を資料とともに展示している。

令和2年度、同館空気清浄機能付きエアコン設置工事・実施設計業務＜展示室・事務室＞予定。

無料開放日 10月31日（土）・11月1日（日）（中止）

### (4) 文化財関連事業

#### ア 平和事業写真パネル展（日置市総務企画部総務課主管）

平和の尊さを継承し、戦争の悲惨さを後世に伝えるため、平和のための写真・資料を展示した。当年度は、戦後75年の節目に際し、戦時中の証言を追加展示した。

(ア) 日時及び会場

7月18日（土）～8月31日（月）

於 日置市中央公民館ロビー

(イ) 展示資料

吹上歴史民俗資料館所蔵戦時関連資料



イ 垂口遺跡発掘調査報告展示

垂口遺跡発掘の際の写真や出土遺物を展示し、発掘調査の成果を周知する。

(ア) 日時及び会場

令和2年8月1日(土)～9月30日(水)

於 ひよし歴史資料室

(イ) 展示資料 垂口遺跡出土遺物(約40点)



ウ 小松帯刀没後150年関連事業(吉利地区公民館主催)

「吉利の名君 小松帯刀展」

幕末期の薩摩藩家老 小松帯刀没後150年に際し、同家旧領吉利郷(日吉町吉利)御仮屋跡である吉利地区公民館を会場として企画展を実施。

(ア) 日時及び会場

令和2年8月22日(土)・同23日(日)

於 吉利地区公民館

(イ) 展示資料 小松家資料等8点他、パネル類



エ 元外相東郷茂徳記念館(日置市総務企画部商工観光課所管施設)内  
美山玉山神社伝来資料等展示室 展示替(整理)

オ 史跡めぐり歩こう会(市教育委員会・各地域子ども会育成会共催)

日時 令和3年2月20日(土) 4地域で実施予定

第42回東市来地域史跡めぐり歩こう会(伊作田地区)

第10回伊集院地域史跡めぐり歩こう会(妙円寺地区・伊集院徳重)

第34回日吉地域史跡めぐり歩こう会(吉利地区)

第9回吹上地域史跡めぐり歩こう会(伊作地区)

(5) かごしま無形民俗文化財(民俗芸能)伝承活動表彰について(報告)

【別紙4】参照

## 2 令和3年度事業計画について

(1) 発掘事業 民間事業に伴う確認調査（随時）

(2) 保護事業

ア 文化財保護審議会及び研修会の開催（予定）

(ア) 第1回指導主事等会議（文化財・文化行政担当者）【県】

4月13日（火）～15日（金）（いずれかの日）

於 かがしま県民交流センター

(イ) 鹿児島県文化財保護指導委員研修会【県】

4月23日（金） 於 かがしま県民交流センター

(ウ) 鹿児島県市町村文化財保護行政担当職員研修会【県】

5月中旬 於 かがしま県民交流センター

(エ) 吹上地域文化財保護協会理事会

5月7日（金） 於 吹上中央公民館

(オ) 第1回日置市文化財保護審議会【市】

8月31日（火） 於 日置市中央公民館

(カ) 鹿児島地域文化財保護審議会委員及び文化行政担当者等研修会

【地区】

7月7日（水） 於 鹿児島市（県民交流センター・黎明館）

(キ) 令和3年度埋蔵文化財専門職員養成講座【県】

初級：8月5・6日（木・金）、中級：同19・20日（木・金）、

上級：1月20・21日（木・金）

於 県立埋蔵文化財センター・上野原縄文の森（霧島市）

(ク) 文化財研修講座【県】

8月上旬（鹿児島市予定）

(ケ) 日置地区文化財担当者等研修会【地区】

11月17日（水）（場所未定）

(コ) 第2回日置市文化財保護審議会【市】

2月10日（金） 於 日置市中央公民館



イ 市内の県・市指定無形民俗文化財等の公開・発表等（予定）

(ア) 県指定

- ・吹上伊作太鼓踊（湯之浦保存会） 無形民俗文化財  
8月28・29日（土・日）  
於 吹上町湯之浦 南方神社他同町内各地（県補助有）
- ・吹上妙音十二楽 無形文化財 10月12日（火）  
於 吹上町田尻 中島常楽院 （墓前法要。一般公開無。）
- ・伊集院大田太鼓踊り 無形民俗文化財  
於 伊集院町徳重 徳重神社・同町大田 神明神社
- ・伊集院町徳重大バラ太鼓踊り 無形民俗文化財

いずれも10月24日（土）（第71回妙円寺詣り奉納行事）

- 於 伊集院町徳重 徳重神社（妙円寺詣り）・同 日枝神社
- ・吹上 大汝牟遅神社流鏝馬（伊作流鏝馬） 無形民俗文化財  
11月23日（火・祝） 於 吹上町中原 大汝牟遅神社

(イ) 市指定無形民俗文化財

- ・お田植え踊（せつぺとべ）（日吉）  
6月6日（日）  
於 日吉町吉利 鬼丸神社・同町日置 八幡神社等
- ・伊作田踊り（東市来）  
8月中旬  
於 伊作田兵部太夫道材の墓地前・鶴城寺外、伊作田地区等  
※令和2年が3年に一度の本祭年であったが、新型コロナウイルス感染症の影響による中止で当年に延期。
- ・北山の火振り（東市来） 8月15日（日）  
於 東市来町養母 北山納骨堂
- ・太鼓踊り（日吉 諏訪・八幡・吉利北区） 無形民俗文化財  
8月下旬  
於 日吉町日置 諏訪（南方）神社・八幡神社  
日吉町吉利 南方神社他日吉町内各地

ウ 民俗芸能等伝承活動支援事業費交付金

対象団体67団体 ※4期目初年

## エ 文化財の保護・管理

### (ア) 文化財パトロール

5月(予定) 東市来・伊集院・日吉・吹上地域内各史跡等

### (イ) 文化財保護協会運営事業

各文化財保護協会(日吉・吹上地域)に補助金

### (ウ) 委託事業

シルバー人材センターや管理公社に清掃・草払い等を委託。

### (エ) 文化財保護啓発活動

文化財保護強調週間 11月1日(月)～同7日(日)

文化財防火デー 1月26日(水)

期間中、市お知らせ版等の広報を通じて市民への文化財の保護の啓発や、文化財所有者や管理者(団体)等への文化財の防犯・防災対策への注意喚起や開発等に伴う文化財保護法の遵守・徹底の文書発送を行う。

## オ 文化財の整備

### (ア) 修繕(補助事業)

・日吉町吉利 園林寺跡(市指定史跡)内 小松某氏(女子)墓塔(石祠)修繕(市指定文化財保護事業費補助金)【別紙5参照】

同祠の屋根部の剥離破損の接合修繕。

・東市来町湯田稲荷神社内 狛犬像二体及び仁王像二体・青面金剛像(いずれも市指定有形彫刻)移設修繕

市指定文化財保護事業費補助金・ひおき文化財魅力再構築事業<仮称>(令和3年度鹿児島県地域振興推進事業)活用検討中

同社境内にある仁王像及び青面金剛像について、神木の成長に伴い、伸びた根により地面が隆起し、両像が傾いており、倒壊の恐れがあるため、これを付近に移設する。

### (イ) 標柱及び説明板等の設置・修繕(予算の範囲内で随時)

【別紙3参照】

## カ 文化財調査

### (ア) 妙音十二楽調査<※令和2年中止による延期>

### (イ) 鮫島佐太郎窯(民陶館)調査<※令和2年中止による延期>

(3) 資料館運営

ア ひよし歴史資料室（日置市役所日吉支所2階）

イ 吹上歴史民俗資料館（日置市吹上中央公民館横）

無料開放日 10月30日（土）・同31日（日）

(4) 文化財関連事業

ア 史跡めぐり歩こう会（市教育委員会・各地域子ども会育成会共催）

2月19日（土） 4地域で実施予定

第43回東市来地域史跡めぐり歩こう会（皆田地区）

第11回伊集院地域史跡めぐり歩こう会（伊集院地区）

第35回日吉地域史跡めぐり歩こう会（吉利地区）

第10回吹上地域史跡めぐり歩こう会（伊作地区）

イ 平和事業写真パネル展（日置市総務企画部総務課主管）

7月下旬～8月初旬予定 於 日置市中央公民館ロビー

吹上歴史民俗資料館所蔵の戦時関連の原資料を活用展示。

3 その他 文化財保護法改正について（概要報告）

○日置市文化財保護審議会条例

平成17年5月1日

条例第98号

(設置)

第1条 文化財の保存及び活用を適正に行うため、日置市文化財保護審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、日置市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

(組織)

第3条 審議会は、10人以内の委員をもって組織する。

2 特別の事項を調査審議するため必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

3 委員及び臨時委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 臨時委員は、当該特別の事項の調査審議が終わったときは、解任されるものとする。

(会長等)

第5条 審議会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、審議会の会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集する。

2 会議は、委員(議事に関係のある臨時委員を含む。以下この条において同じ。)の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。

4 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第7条 審議会は、必要に応じ、部会を置くことができる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成17年5月1日から施行する。

(別紙2)

市指定史跡 大乘寺跡日置島津家6代 島津久竹墓塔(石祠)修繕  
について(報告)

- 1 施工日 令和2年10月6日(火)
- 2 施工箇所 日置市日吉町日置字大乘寺5680 大乘寺跡境内  
日置島津家6代 島津久竹墓塔(石祠)
- 3 施工費 902,880円(内 451,000円市指定文化財保護事業補助金)
- 4 修繕内容

摩耗した石祠の側面の壁石3面を新規に取り換え、割れて鉄製の銚(かすがい)で接合してあった屋根部を改めて銚(かすがい)と樹脂で接合し、組みなおした(元の壁石は別途、敷地内保管)。

今回の修繕に伴い、本石祠内に安置されている石像(地藏座像カ)背面の刻銘が確認できた。「文政二年(1819)□(卯カ)／六月／年二十二／石工川崎九兵衛門□□(經カ)」とあり、江戸後期に彫られたものであることが分かる。なお、納骨器は確認されていない。

#### 5 その他

島津久竹:(1647-1717; 忠興・久道・久庸・長千代・又十郎・佐左衛門・丹波・左衛門・彦太郎・入道一蓑)は、日置島津家6代当主。正保4年(1647)4月7日、鹿児島城下で誕生(父 同家5代 忠朝・母 仁禮主計頼充娘)。横目頭(後の大目付)を勤め、延宝3年(1675)8月、日置島津家の家督を相続。同8年、同家領地の東郷(薩摩川内市)の代わりに日置郷への領地替願を許される。以降、同家は、日置郷を維新时期まで領した。同年、徳川綱吉の將軍襲封に伴い、祝賀使として江戸出府。正徳元年(1711)、藩命により庶子家を分出(同3年、久竹弟久近を祖とする板鼻家と久竹二男久辰を祖とする赤山家を、同4年に久竹三男久英(歳秀)を祖とする山岡家を創出)。同2年、隠居(嫡男久建襲封)。享保2年(1717)9月21日、逝去(享年71)。法名「蓮華院殿玉翁一蓑大禅伯」。明治初期の神仏分離令や島津家の神道転宗に伴い、法名は神号に改号されており、本石祠屋根庇正面にも「改號玉勝間折竹彦命」の刻銘がある)。

在世中は、藩主名代を務めた他、同家への藩主光臨も複数回あり、島

津有力分家（大身分・準一門家・所謂「四家／家名方」）の一つとして、本家との親しい関係性がうかがえる。

なお、大乘寺跡に残る仁王像には、「奉造阿吽二像藤原久竹」の刻銘があり、久竹奉納の仁王像であることがわかる（『日吉郷土史』上巻・『鹿児島県史料』旧記雑録拾遺諸氏系譜3）。

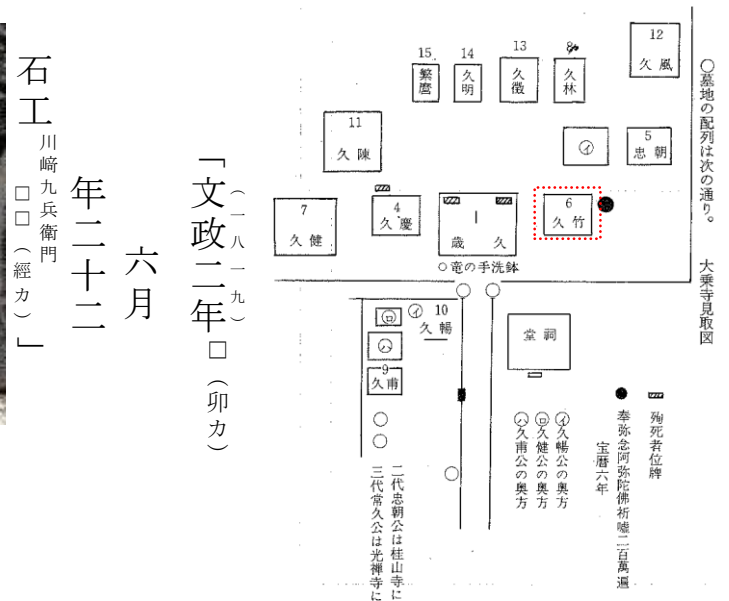
<修繕前>



<修繕後>



（石像〈地藏座像カ〉背面刻銘）



文化財標柱及び説明板等の設置・修繕について

1 令和2年度修繕箇所(報告)

解説板の全面修繕や部分修正(旧町指定標記の市標記化や誤記修正)等。

- (1) 吹上町中原 亀丸城(伊作城内)(県指定記念物 史跡) 解説板修繕  
(解説板脚部破損修繕)
- (2) 吹上町中原 東本町 <sup>えびす</sup>蛭子像(蛭子神社)(市指定有形 彫刻)  
解説板修繕
- (3) 入来 西原 矢石(非指定) 解説板修繕
- (4) 入来浜 米蔵跡(非指定) 解説板修繕
- (5) 永吉 南郷城跡(市指定記念物 史跡) 解説板新設(3月予定)

2 令和3年度以降修繕・新設予定箇所

予算の範囲内で年次的に順次修繕する。

- (1) 東市来地域
  - ア 湯田稻荷神社境内 狛犬像二体及び仁王像二体(市指定有形彫刻)  
・ヤッコソウ発生地(国指定天然記念物) 標柱
  - イ 美山 美山薩摩焼窯(御定式窯跡 県指定記念物 史跡)・薩摩焼  
古窯南京皿山窯跡二基(市指定記念物 史跡) 誘導看板
  - ウ **長里 市来鶴丸城跡(市指定記念物 史跡) 登城口案内看板**
- (2) 伊集院地域
  - ア 下谷口 有馬新七先生墓碑(市指定記念物 史跡) 解説板
  - イ 大田 雪窓院跡(非指定) 標柱
  - ウ 大田 大渡橋記念碑(市指定有形 建造物) 解説板新設
  - エ 野田 伝桑波田氏墓地(塔之原石塔群)(非指定) 標柱
  - オ 野田 法泉寺跡(非指定) 標柱
- (3) 日吉地域
  - ア 吉利 吉利神社(市指定記念物 史跡) 解説板
  - イ 山田 岩屋観音(市指定記念物 史跡) 及び山田家歴代の墓解説板
  - ウ 日置 毘沙門 毘沙門天(市指定記念物 史跡) 解説板
- (4) 吹上地域
  - ア 永吉 浜田橋(市指定有形 建造物) 解説板
- (5) その他 部分修正(随時)





伊作城 崩落直後



伊作城解説板 応急処置



伊作城解説板 復旧後



「蛭子像」看板



かごしま無形民俗文化財（民俗芸能）伝承活動表彰について  
（報告）

県内の民俗芸能の伝承活動に取り組んでいる児童生徒に対し、その伝承意欲を高め、後継者育成を図る（鹿児島県教育委員会主催）。

(1) 対象：概ね2年以上、国・県・市町村指定の無形民俗文化財の伝承活動に取り組む児童生徒。

(2) 受賞団体

令和2年度、市内5件の県・市指定無形民俗文化財の保存会13団体から106人の小中高生表彰。

ア 県指定無形民俗文化財

(ア) 伊集院「大田太鼓踊」（大田太鼓踊保存会 6人）

(イ) 伊集院「伊集院町徳重大バラ太鼓踊」（徳重大バラ太鼓踊（徳重大太鼓踊）保存会 7人）

イ 日置市指定無形民俗文化財

(ア) 東市来「北山の火振り」（北山火振り保存会 2人）

(イ) 日吉「お田植え踊」

・日新鎌踊保存会（日新子ども会育成会）13人

・山田鎌踊保存会（山田子ども会育成会）17人

・八幡虚無僧踊保存会（八幡自治会）7人

・諏訪笹踊保存会（諏訪自治会）15人

・北区田植え踊（鎌踊）保存会（北区自治会）13人

・中区田植え踊（鎌踊）保存会（中区自治会）13人

・扇尾田植え踊（虚無僧踊・棒踊）保存会（扇尾自治会）8人

(ウ) 日吉「太鼓踊」（日吉）

・八幡太鼓踊保存会（八幡自治会）6人

・北区太鼓踊保存会（北区自治会）6人

・中区太鼓踊保存会（中区自治会）3人

市指定史跡 園林寺跡内 小松某氏(女子)墓塔(石祠)修繕

- 1 施工箇所 日置市日吉町吉利字外屋敷5004-3 園林寺跡境内  
小松某氏(女子)墓塔(石祠)墓塔(石祠)

- 2 概要

園林寺は、元は、小根占(南大隅町)に応永24年(1417)に同地を治める禰寝家の菩提寺として建てられた曹洞宗寺院(本尊:阿弥陀如来)。文禄4年(1595)、同家17代禰寝重張ねじめしげひらが小根占から吉利へ移封された際、現在地に移設された。なお、江戸中期、禰寝氏は小松氏に改号する。

明治初期の廃仏毀釈で廃寺になるが、経塚や、薬師如来像、僧侶の墓の他17代以降の同家歴代当主やその家族の墓が残っている。

当該墓塔の被葬者は不明。石祠内の宝篋印塔の墓碑銘に「嘉永□(「改」カ)元□(「戊」カ)申/七月十三日/映鏡院殿諦観浄大姉(「□」は判読不能)」とあり、嘉永元年(1848)7月13日建立の女性の墓である。同年4月13日に、小松家第28代清猷きよもと(小松帯刀の義兄)の妻速(前妻で重富島津(越前)家島津忠貫(忠寛・静洞)の三女)が病死しており、同人の墓の可能性はあるが、速の法名が不明のため、断定はできない。いずれにせよ、小松家関係者の墓である。

同祠の屋根部が、礫質の石材のため剥離が進行し、破損している。所有者及び地元管理団体より、修繕の申出があったため、当該墓塔の剥落した破片を接合し、修繕を行いたい(市指定文化財保護事業補助金<1/2補助>活用検討)。

